



渡邊辰五郎の教育理念に関する研究

キーワード 人格, 女子教育, 実学教育

研究内容

東京家政大学の校祖渡邊辰五郎が裁縫教育に様々な工夫を加えて新局面を切り開き、女性の職業的自立に多大な貢献を果たしたことはこれまでの研究によって明らかになっています。そして辰五郎は、ただ単に裁縫教育に技術的な革新をもたらしただけでなく、意識的に「人格」を形成する教育を目指していたことが本人の発言から知られています。辰五郎没後には、裁縫教育や家庭教育を通じて「人格」を形成するという理念が教育界に広く見られるようになりました。この研究では、裁縫教育を通じてどのように「人格」を形成することを目指したのか、辰五郎の教育理念を明らかにし、その後世への影響を探ることを目指しています。



渡邊辰五郎の出身地、千葉県長南町にある辰五郎の頌徳碑



千葉県長南町、渡邊辰五郎出生地の案内パネル

社会連携・産学連携の可能性

新たに解明した事実を図書館や博物館と連携して打ち出すことを考えています。